胆振東部地震

町内各所に隆起、亀裂がみられました

第5町内会では

9月4日に台風21号が上陸し、6日には胆振東部地震が起き、大きな災害が発生しました。
台風では、強風が吹き街路樹が倒れて道をふさぎ、地震では胆振地方で震度7の激震となり厚真町、鵡川町、安平町、札幌市の清田区、北区などで多くの被害がありました。

第5町内会では、台風が通り過ぎた5日、朝6時頃から役員、区長さんが町内を見回り、ごみステーションの破損と「あかつき公園」内の木の3本に被害を発見、1本は公園内に横倒しとなり、1本の巨木は斜め前の木に寄り掛かり、1本の木の枝が公園の街路灯の電線に引っ掛かった状態でした。直ちに土木現業所に通報し処理に2，3日かかりましたが撤去されました。また、ごみステーションの破損個所の修理も行いました。

6日、地震発生と同時に第5町内会の高齢者見守り担当委員が、それぞれ担当する80歳以上で、一人暮しの高齢者宅へ駆けつけ安否を確認しました。家具が倒れドアが開けられない方や外へ避難したお年寄が余震をおそれ、近隣の方の車の中で朝まで過ごしたなどの事例もありました。また、複数のマンションでは停電と同時に館内の非常照明が一斉に点灯し、住民の安心感につながりました。
テレビでは8日（金曜日）のごみ出し中止、9日（土曜日）に収集するとの報道テロップが流れその対応に追われましたが白石清掃事務所に確認、朝6時頃から役員をはじめ区長さん、班長さんに協力をお願いし朝早くから活発に活動して頂きました。
各家庭に各班からお知らせし、同時に戸別に安否確認、被害状況もある程度確認することができました。

今回、町内会の連絡網、高齢者見守りの組織機能がある程度いかされたと感じましたが、今後検証を重ねながら、万一の災害に対応が強化されるよう地域の皆さんと力を合わせていきたいと思います。

○ごみステーション掲示板の改修○

台風、地震などでごみステーションに一部破損があり、修理を行いました。公園の所では掲示板を新しくしました。また、1カ所で50世帯以上で使用しているところもありごみサークルを仮り増ししました。
将来的にごみステーションの増設を考えています。

敬老の日・お祝品贈呈

9月17日（月・祝日）敬老の佳き日にちなみ町内にお住まいの77歳以上の会員90名の方に、長寿を祝ってお祝いの品をお届けしました。これからも皆さんご壮健で健康寿命を維持され、元気にお過ごしください。

新しくなった掲示板

増設したサークル